

## 『統合科学』投稿規程

2023年3月20日

1. 本誌に掲載される原稿は未発表で、ヘルスシステムに関する統合科学的研究を論じたもの、もしくはヘルスシステムに関連する諸分野の専門的な内容を扱うものとする。ただし、扱う内容が関連分野のものであっても専門性の高い場合には、専門外の人々にも理解できるように配慮されている必要がある。
2. 投稿原稿の類別は、論文、研究ノート<sup>1</sup>、研究動向・レビュー、書評、活動報告とし、著者が類別を指定する。
3. 投稿原稿は原則として和文ないし英文で書き、分量は、注と図表を含めて、論文は和文で25,000字以内（英文は10,000-15,000words）、研究ノート<sup>1</sup>は20,000字以内（英文は7,000-12,000words）、研究動向・レビューは10,000字以内（英文は3,000-5,000words）、書評・活動報告は10,000字以内とする。論文と研究ノートに限り、冒頭に和文表題および英文表題と300語以内の欧文のアブストラクトをネイティブチェックの上で付けること。
4. 既に他誌、学内紀要等に発表したものを投稿すること、また既に英文の論文として発表されたものを和文として投稿することおよびその逆の行為は、いずれも二重投稿に該当するものとして禁止する。掲載後に多重発表・投稿、特定不正行為（捏造、改ざん、盗用）が発覚した場合には、掲載を取り消しその旨を本誌で公告する。
5. オーサーシップの在り方や二重投稿の禁止については日本学術会議の「科学研究における健全性の向上について」（2015年3月6日）に、特定不正行為（捏造、改ざん、盗用）については「国立大学法人岡山大学における研究活動に係る不正行為への対応に関する規程」にそれぞれ準ずることとする。
6. 倫理的配慮を必要とする内容を扱う場合は、どのような倫理的配慮がなされたかを明記すること。倫理審査委員会の承認を得たうえで行った研究であれば、その承認を受けた倫理審査委員会名、承認年月日、承認番号を明記する。また、利益相反の有無についても明記すること。
7. 投稿原稿の採否は、『統合科学』編集委員会が査読者2名を定め、その査読者の意見を元に編集長(editor)が採否を決定する。査読の結果、投稿原稿の内容の修正や類別の変更を求めることがある。
8. 本誌に掲載された文書の著作権は、原則として岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科に帰属するものとし、岡山大学学術成果リポジトリに掲載されるものとする。ただし、著者自身による利用については原則として異議を申立てない。

---

<sup>1</sup>「研究ノート」は第4号（2024）より廃止予定。

#### 【編集後記】

『統合科学』第3号を無事に発行することができました。投稿いただいた方々、査読・編集にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。本年4月で大学院ヘルスシステム統合科学研究科設置6年目を迎えます。本号を編集するなかで、本研究科の構成員が様々な形で統合科学の教育・研究に取り組んでいること、またそれらの取り組みのなかでどのような成果を得ていかなる課題に直面したのか、あらためて確認することができました。

私事で恐縮ですが、2月から3月にかけて2週間ほど入院することとなり、関係各位に多大な迷惑をかけました多くのご助力をいただきました。この場を借りて深謝申し上げます。

ポストコロナに向けて社会が大きく変容しようとしています。これにともないヘルスシステムにおける新たな課題が顕在化するかもしれません。注視したいと考えています。(吉葉)

統合科学 第3号

ISSN2436-3227

発行日 2023年3月31日

発行者 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1

編集担当 吉葉恭行(委員長)・本村昌文・日笠晴香・鈴木亮三

印刷所 株式会社iプランニング KOHWA